

★笠原(石森)城のお濠ビオトープ・プロジェクト

故郷まちづくりナイン・タウン

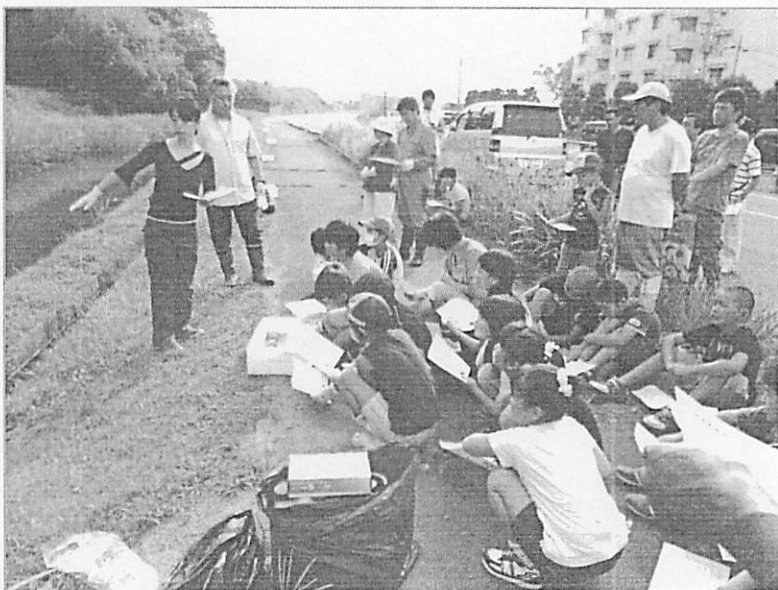
登米市中田町の石森地区の中央部に笠原(石森)城の址があります。ちょうど石森小学校の裏山全体が城郭であったと伝えられ、南側の山裾の下を流れる水濠跡と思われる水路が現在も残っています。しかし、農業用水が計画取水になり水量が激減し、以前にいた生物も観察できなくなってきた、子どもたちの遊びや学びの場が失われて来つつあります。

そこで、歴史あるこの笠原城の濠跡を再び魚が住む濠に戻そうと、NPO 法人故郷まちづくりナイン・タウン(以下、ナイン・タウン)は、石森小学校と地域住民と協議を重ね、一緒に清掃作業などのビオトープ活動を展開しています。

ビオトープとは、残された貴重な生物生息空間を保全したり、消失したところを復元、創出すること。ナイン・タウンは、笠原城周辺を舞台に、「環境」をテーマにした講演や清掃活動、生物観察、野外活動等の連続プログラムを実施しています。

略して「ほりプロ」の一環として、石森小学校4年生の皆さんやその保護者、先生方、地域住民多数と共に、夏休みに入ってすぐの7月24日に、濠の清掃や草刈り、生き物、水深、水質の調査を実施したほか、スタッフが「めんこちゃん団子」と名付けたEM団子を作成。そして夏休み最後の8月25日には、朝6時半からたくさん子ども達や保護者などが集合し、しっかり乾燥したEM団子をお濠に投入する作業をしました。

EM団子は、主に赤土、米ぬか、もみ殻、80種類



の有用微生物の入ったEM菌活性液、糖蜜からできています。汚泥(ヘドロ)のたまった川や海、湖沼、干潟などに投げ入れることで、EM(有用微生物群)の定着を促し、EMがヘドロを徐々に分解し、元の生態系が蘇ってくる効果を発揮するというお利口な「めんこちゃん」です。1m以上もたまっていたヘドロを分解し、濠が「めんこく」なることが期待されます。

ナイン・タウンの皆さんは、漫画家の石ノ森章太郎が描いた幼少時代の遊びや風景を再び取り戻し、感性豊かな子どもを育て、地域を生きた教育の場としたい!と、10月にもさらなる活動を予定しています。

■NPO 法人故郷まちづくりナイン・タウン

〒987-0601

登米市中田町石森字小人町 71-2

TEL/FAX 0220-44-4301

URL <http://nine-town.org>

助成金のいろは講座

とめ市民活動プラザの第1回目の講座を開催します!

自分の活動にあう助成金は?

助成金の申請書をどう書いたらいいの?

NPO 活動を継続して行うために必要な資金調達の仕方を学び、多くの支援者に応援される団体になれるように NPO としての力をつけましょう!

日時:2012年11月8日(木)19:00~21:00

場所:登米市にぎわいセンター 研修室1

(登米市迫町佐沼字西佐沼 70) 七福通り沿い

参加費:500円

定員:20名 (満員になり次第〆切)

申込締切:11月5日

申込先:とめ市民活動プラザ

TEL&FAX 0220-44-4167